

すぐそばに行く「コープさっぽろ」の移動販売「おまかせ便カケルくん」 北の大地を大型トラックが疾走、食のインフラをサポート

- 2007年、北海道内の生協統合により「コープさっぽろ」誕生。統合を機に組織として地域貢献を模索。「食のインフラの確保」として、2010年に3台から移動販売事業をスタート。
- 2024年7月時点、道内137市町村、60店舗から96台の移動販売車を運行。2025年は100台体制に。

基本情報

【北海道】

- ・人口 522,4万人
 - ・世帯数 247,7万世帯
 - ・高齢者人口 167,9万人(32.1%)
- ※令和2年国勢調査より引用



背景ときっかけ

- 生協統合時の方針として「高齢者見守り」「配食」「移動販売」を設定。市町村ヒアリングから「買物弱者対策」の要望。
- 2010年から、3台で移動販売事業をスタート(旧夕張市民生協のノウハウ・経験も)。
- 移動販売は販売員と利用者、利用者同士がコミュニケーションがとれる場にも。

問合せ先

生活協同組合コープさっぽろ
住所: 北海道札幌市西区発寒11条5丁目10-1
電話: 011-671-5601

事業内容

- 北海道全域で96台の移動販売車が運行(2024年7月時点、道内7割のエリアをカバー)。
- 各店舗50km圏内、週5日間・1-2回、1日15-20カ所に停車
- 年間利用者のべ9万人、平均日販9.3万円(台)
- 約1,000品目の品揃え。商品は店舗と同価格。
- 宅配生協(トドック)と併用している人も。

取組上の工夫

- 高齢者に配慮し、ステップや通路幅、棚高を変更。
- 降雪でも車内で買い物ができる寒冷地仕様の四駆2t車を導入、一部地域ではATM併設3t車も運行。
- 道内171市町村との見守り協定から、利用者の異変には連携できる体制。
- 高齢者施設(約180カ所)にも停車し、利用者からも好評



【移動販売車 おまかせ便カケル】